

令和 5 年 6 月 20 日現在

機関番号：82674

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18H03107

研究課題名(和文) 地域在住高齢者が持つ生活支援ニーズ量の将来推計方法の確立

研究課題名(英文) Estimation of future needs of life support services among community-dwelling older adults

研究代表者

村山 洋史 (Murayama, Hiroshi)

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター(東京都健康長寿医療センター研究所)・東京都健康長寿医療センター研究所・研究副部長

研究者番号：00565137

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、高齢者の生活支援ニーズとその変化パターンを明らかにすることを目的とした。2018年と2020年に新潟県十日町市下奈地区に居住する65歳以上者全数を対象に自記式アンケート調査を行った。生活支援の必要性の認識として設定した33項目のうち、『必要と感じ、お金を支払ってでも利用したい』との回答者が多かったのは、「冬期の雪かき・雪おろしの手伝い」「消費者被害にあったときの対処」「相続に関する、相談や手続き」で、2018年、2020年とも同じ傾向であった。33項目のいずれのサービスでも、『必要だと感じない』と回答した者の割合は、COVID-19流行前の2018年と比べ、2020年の方が高かった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

生活支援に関する調査研究は、現在何に困っているかという現状ニーズを把握しているのみであり、ニーズの変化や背景・生活状況・生活環境別のニーズについて深掘りした調査研究は見られない。持続可能なサービス提供体制の枠組みを考えるためには、長期的視野を持ってニーズを捉え、かつ、高齢期における様々な変化やバリエーションを考慮した調査を設計し、それを基に議論していく必要がある。本研究は、縦断デザインを用い、これまでの調査研究では明らかにされなかった高齢者の個人・環境特性毎の生活支援ニーズの変化を明らかにする点で、社会的意義が高い。

研究成果の概要(英文)：This study aimed to identify the daily living support needs of the elderly and their changing patterns, using a longitudinal design. A self-administered questionnaire survey was conducted in 2018 and 2020 among all persons aged 65 and older living in Gejo district, Tokamachi City, Niigata Prefecture. Of the 33 items identified as lifestyle support needs, the most common items that respondents "felt necessary and would be willing to pay for" were "help with shoveling and clearing snow in winter," "dealing with consumer damage," and "consultation and procedures regarding inheritance," with the same trend in both 2018 and 2020. The proportion of respondents who answered "do not feel it is necessary" for any of the 33 services was higher in 2020 (during the COVID-19 pandemic) than in 2018 (before the pandemic).

Translated with [www.DeepL.com/Translator](http://www.DeepL.com/Translator) (free version)

研究分野：公衆衛生学

キーワード：生活支援 サービス利用 高齢者

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

生活支援サービスの充実は、高齢期の日常生活を支える上で重要である。生活支援に関する先行研究を概観すると、高齢者を一括りにし、彼らが現在有するニーズの把握を試みたものが多い。しかし、地域で持続可能な生活支援サービス提供体制を構築するためには、現状のニーズ把握のみならず、長期的視点に立ってニーズ量の将来推計まで行い、地域内のどこに/どの層に、どのようなニーズが発生しやすいかを明確にすること、すなわちニーズの見える化が有効である。そのためには、個人の背景や生活状況、生活環境別に細分化した詳細なニーズ検討、ニーズの経時的変化の把握、が基礎データとして必要となる。

### 2. 研究の目的

本研究は、縦断デザインを用い、高齢者の個人特性・環境特性毎の生活支援ニーズとその変化パターンを明らかにする。

### 3. 研究の方法

#### 1) 研究デザイン

新潟県十日町市下条地区に居住する65歳以上の高齢者全数に2018年、2020年の2時点において、郵送による自記式のアンケート調査を行った。回答の手助けや聞き取りを希望する者には訪問対応も行った。ただし、公的サービス等ですでに生活支援を受けている可能性が高い要介護3以上のものは除外した。結果、2018年調査は1,033名、2020年調査では1,062名を対象にした。

十日町市は県南部に位置する。約70%を山林・原野が占め、国内有数の豪雪地帯である。2018年8月末時点の人口は約5万3千人で減少傾向にあり、高齢化率は37.7%と少子高齢化が進む。下条地区は人口3,238人、地域の中央に医療・老人施設や幼稚園、温泉施設等が集まり、NPO法人により市営バスが運行されるなど、地域の連帯感が強い。

#### 2) 調査項目

##### (1) 基本属性

性別、年齢、同居家族、居住年数、暮らし向き、最終学歴を尋ねた。

##### (2) 健康状態

主観的健康感と手段的自立を尋ねた。手段的自立は、老研式活動能力指標の下位尺度である手段的自立動作5項目を用いた。

##### (3) 生活支援の必要性の認識

文献や高齢者へのヒアリングから生活支援33項目を選定し、必要と感じるかを尋ねた(後述の図参照)。「自分にとって必要だと感じない。」1点、「自分に必要だと感じる。しかし、お金を払ってまでは利用したくない。」2点、「自分にとって必要だと感じる。お金を払ってでも利用したい。」3点で回答を求めた。

##### (4) 生活支援の担い手になることへの認識

「日常生活の困りごとを抱えている地域住民に対して、何か手助けをしてあげたいと思いますか」という質問に対し、「とても思う」「やや思う」「あまり思わない」「全く思わない」の4件法で尋ねた。

また、「どのような手助けをしてあげたいと思いますか」という質問に対し、「話し相手、困ったときの相談相手」「見守り・安否確認の声かけ」「食事の準備や掃除・洗濯の手伝い」「気軽に参加できる集まりやイベントに誘う」「買い物の同行・代行」「通院の送迎や付き添い」「庭仕事や畑作業などの外回りの作業」「雪かき・雪下ろし」「どれもしたいと思わない」の9つの選択肢を設け、あてはまる選択肢を全て回答してもらった。

#### 4. 研究成果

2018年調査は、802名から返信が得られ（回収率77.6%）、そのうち入院・入所中等の者等を除く791名を有効回答とした（有効回答率76.6%）。2020年調査は868名から返信が得られ（回収率81.7%）、そのうち入院・入所中等の者等を除く849名を有効回答とした（有効回答率79.9%）。

##### 1) お金を払ってでも利用したいサービスは何か（2年間の比較）

33項目のうち、『自分にとって必要と感じているので、お金を支払ってでも利用したい』（グラフの灰色部分）と回答した者が多かった項目（上位5位）は以下の通りであった。なお、2018年の結果と比較しても、この上位5項目の順番は変わりなかった。

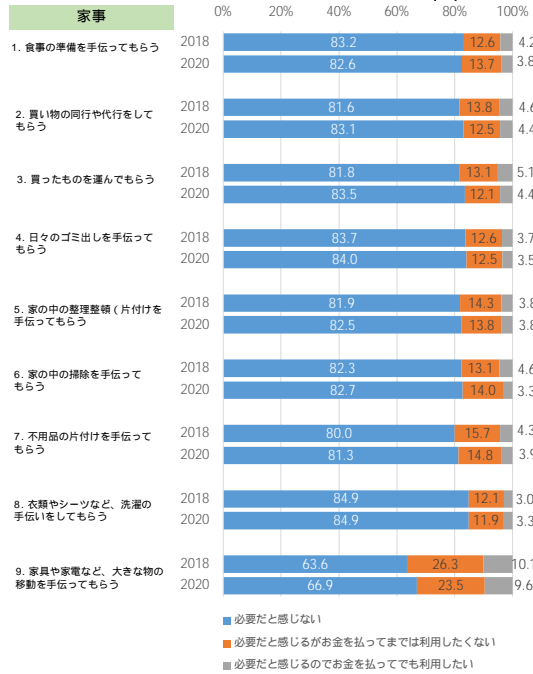
====

冬期の雪かき・雪おろしの手伝い	（2018年：18.0% → 2020年：16.5%）
消費者被害にあったときの対処	（2018年：13.8% → 2020年：13.6%）
相続に関する、相談や手続き	（2018年：11.9% → 2020年：12.1%）
生活のトラブルに関する、相談や解決	（2018年：10.8% → 2020年：10.3%）
自分の体調が悪い時の看病	（2018年：10.2% → 2020年：10.1%）

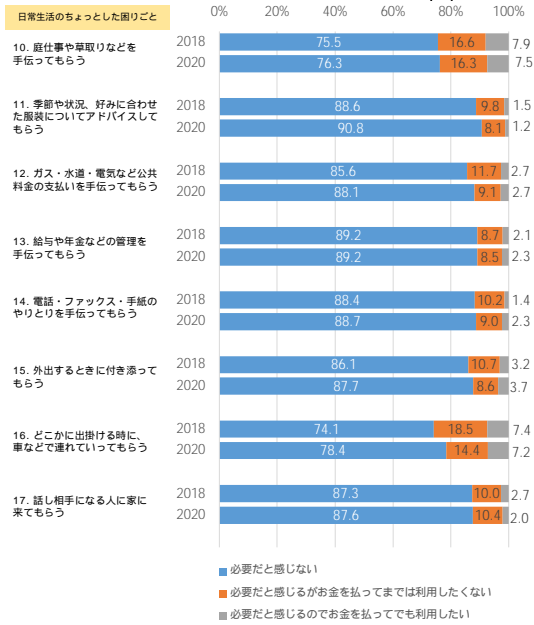
====

また、33項目のいずれのサービスでも、『必要だと感じない』と回答した者の割合は、新型コロナウイルス感染症流行前の2018年と比べると、2020年の方が高かった。

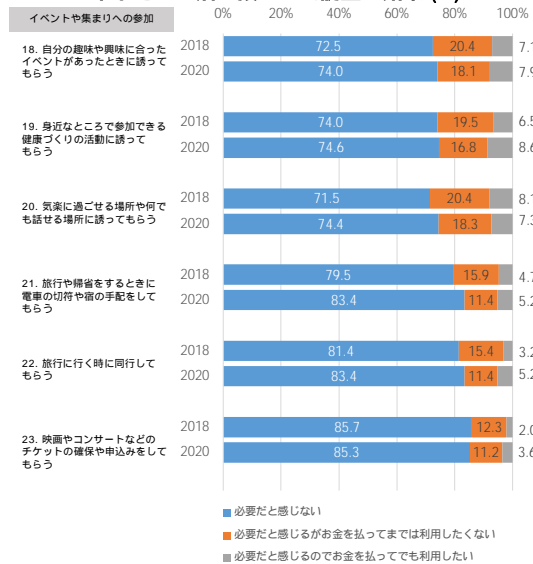
### 下条地区生活支援ニーズ調査 結果(1)



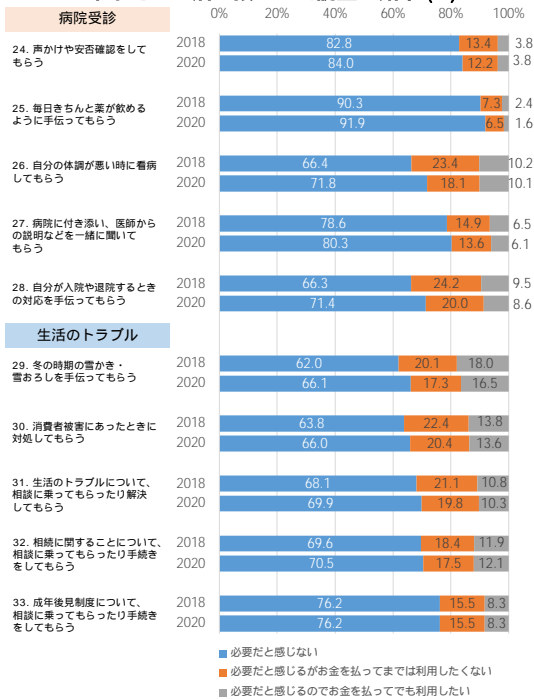
### 下条地区生活支援ニーズ調査 結果(2)



### 下条地区生活支援ニーズ調査 結果(3)



### 下条地区生活支援ニーズ調査 結果(4)



## 2) 生活支援の担い手として支援してみたいか？(2年間の比較)

『したくない』と回答した者は、2018年に26.4%だったのが、2020年は20.2%に減少した。支援できる内容は、「話し相手・相談相手」「見守り・安否確認」が約4割程度と高かった。

## 3) まとめ

有料でも生活支援を希望する者(=真に支援が必要な人)は、コロナ禍でも一定存在していることが明らかになった。生活支援に関しては、時勢を問わない支援体制が求められている。

ると考えられた。一方、人との接触を控える傾向のためか、2020年調査ではサービスは『必要ない』と回答する人が全体的に増加していた。ただし、これはある程度自分で生活をやりくりできている人達だと思われる。

生活支援の担い手は潜在的に増えている可能性がある。感染に不安を感じている人が多いために適切な感染予防措置は必要だが、それさえクリア出来れば、地域で互助体制を進めていける素地は十分にあることが示された。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計41件（うち査読付論文 41件 / うち国際共著 4件 / うちオープンアクセス 14件）

1. 著者名 Murayama Hiroshi, Liang Jersey, Shaw Benjamin A, Botosaneanu Anda, Kobayashi Erika, Fukaya Taro, Shinkai Shoji	4. 巻 76
2. 論文標題 Short-, Medium-, and Long-term Weight Changes and All-Cause Mortality in Old Age: Findings From the National Survey of the Japanese Elderly	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journals of Gerontology: Series A	6. 最初と最後の頁 2039 ~ 2046
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gerona/glab052	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Murayama Hiroshi, Takahashi Yuta, Shimada Setaro	4. 巻 18
2. 論文標題 Effectiveness of an Out-of-Pocket Cost Removal Intervention on Health Check Attendance in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 5612 ~ 5612
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18115612	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Murayama Hiroshi, Okubo Ryo, Tabuchi Takahiro	4. 巻 18
2. 論文標題 Increase in Social Isolation during the COVID-19 Pandemic and Its Association with Mental Health: Findings from the JACSIS 2020 Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 8238 ~ 8238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18168238	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Murayama Hiroshi, Nakamoto Isuzu, Tabuchi Takahiro	4. 巻 18
2. 論文標題 Social Capital and COVID-19 Deaths: An Ecological Analysis in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 10982 ~ 10982
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph182010982	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kikuchi Hiroyuki, Inoue Shigeru, Amagasa Shiho, Fukushima Noritoshi, Machida Masaki, Murayama Hiroshi, Fujiwara Takeo, Chastin Sebastien, Owen Neville, Shobugawa Yugo	4. 巻 143
2. 論文標題 Associations of older adults' physical activity and bout-specific sedentary time with frailty status: Compositional analyses from the NEIGE study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Experimental Gerontology	6. 最初と最後の頁 111149 ~ 111149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exger.2020.111149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamoto Shohei, Kobayashi Erika, Murayama Hiroshi, Liang Jersey, Fukaya Taro, Shinkai Shoji	4. 巻 21
2. 論文標題 Decomposition of gender differences in cognitive functioning: National Survey of the Japanese elderly	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Geriatrics	6. 最初と最後の頁 38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-020-01990-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Y, Suzuki Y, Dohmae S, Murayama H	4. 巻 4
2. 論文標題 Intermittent Diabetes Care and the Risk of Diabetic Kidney Disease in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: Findings from Data Analysis of Local Governmental Claims Data	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JMA Journal	6. 最初と最後の頁 284 ~ 288
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31662/jmaj.2020-0106	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chiu Ching-Ju, Chen Yun-An, Kobayashi Erika, Murayama Hiroshi, Okamoto Shohei, Liang Jersey, Jou Yuh-Huey, Chang Chia-Ming	4. 巻 96
2. 論文標題 Age trajectories of disability development after 65: A comparison between Japan and Taiwan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 104449 ~ 104449
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2021.104449	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Komazawa Yukitsugu, Murayama Hiroshi, Harata Noboru, Takami Kiyoshi, Parady Giancarlos Troncoso	4. 巻 31
2. 論文標題 Role of Social Support in the Relationship Between Financial Strain and Frequency of Exercise Among Older Japanese: A 19-year Longitudinal Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 265 ~ 271
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20190248	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okubo Ryo, Yoshioka Takashi, Nakaya Tomoki, Hanibuchi Tomoya, Okano Hiroki, Ikezawa Satoru, Tsuno Kanami, Murayama Hiroshi, Tabuchi Takahiro	4. 巻 287
2. 論文標題 Urbanization level and neighborhood deprivation, not COVID-19 case numbers by residence area, are associated with severe psychological distress and new-onset suicidal ideation during the COVID-19 pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 89 ~ 95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2021.03.028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Keiko, Wakaizumi Kenta, Kubota Yasuhiko, Murayama Hiroshi, Tabuchi Takahiro	4. 巻 11
2. 論文標題 Loneliness, social isolation, and pain following the COVID-19 outbreak: data from a nationwide internet survey in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 18643
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-97136-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuwahara Keisuke, Kuroda Ai, Murayama Hiroshi, Fukuda Yoshiharu	4. 巻 21
2. 論文標題 High prevalence of eating alone among community dwelling adults living alone: A cross sectional study in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Geriatrics and Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1060 ~ 1061
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.14274	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Taguchi Atsuko, Murayama Hiroshi, Ono Keiko	4. 巻 16
2. 論文標題 Association between Japanese community health workers' willingness to continue service and two categories of motives: Altruistic and self-oriented	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0220277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0220277	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki Masanori, Hirano Hirohiko, Motokawa Keiko, Shirobe Maki, Eda Hiro Ayako, Ohara Yuki, Kawai Hisashi, Kojima Motonaga, Obuchi Shuichi, Murayama Hiroshi, Fujiwara Yoshinori, Ihara Kazushige, Shinkai Shoji, Kitamura Akihiko	4. 巻 21
2. 論文標題 Interrelationships among whole-body skeletal muscle mass, masseter muscle mass, oral function, and dentition status in older Japanese adults	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Geriatrics	6. 最初と最後の頁 582
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-021-02552-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doi Satomi, Koyama Yuna, Tani Yukako, Murayama Hiroshi, Inoue Shigeru, Fujiwara Takeo, Shobugawa Yugo	4. 巻 18
2. 論文標題 Do Social Ties Moderate the Association between Childhood Maltreatment and Gratitude in Older Adults? Results from the NEIGE Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 11082 ~ 11082
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph182111082	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iizuka Ai, Murayama Hiroshi, Machida Masaki, Amagasa Shiho, Inoue Shigeru, Fujiwara Takeo, Shobugawa Yugo	4. 巻 13
2. 論文標題 Leisure Activity Variety and Brain Volume Among Community-Dwelling Older Adults: Analysis of the Neuron to Environmental Impact Across Generations Study Data	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 758562
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2021.758562	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakurai Ryota, Watanabe Saya, Mori Hiroki, Sagara Tomoya, Murayama Hiroshi, Watanabe Shuichiro, Higashi Kentaro, Fujiwara Yoshinori	4. 巻 21
2. 論文標題 Older assistant workers in intermediate care facilities, and their influence on the physical and mental burden of elderly care staff	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Health Services Research	6. 最初と最後の頁 1285
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12913-021-07302-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 相良友哉, 高橋知也, 西中川まき, 村山洋史, 藤原佳典	4. 巻 10
2. 論文標題 首都圏高齢者のボランティア活動頻度と心身・社会的状況との関連: 世代間交流型ボランティアを行う高齢者を対象として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本世代間交流学会誌	6. 最初と最後の頁 25-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天笠志保, 井上茂, 村山洋史, 藤原武男, 菊池宏幸, 福島教照, 町田征己, 菅蒲川由郷.	4. 巻 23
2. 論文標題 加速度計で調査した農村部在住高齢者の身体活動: NEIGE study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 運動疫学研究	6. 最初と最後の頁 200-201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama H, Fujiwara T, Tani Y, Amemiya A, Matsuyama Y, Nagamine Y, Kondo K.	4. 巻 73(7)
2. 論文標題 Long-term impact of childhood disadvantage on late-life functional decline among older Japanese: Results from the JAGES prospective cohort study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Gerontology: Biological Sciences & Medical Sciences	6. 最初と最後の頁 973-979
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gerona/glx171	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama H, Sugiyama M, Inagaki H, Okamura T, Miyamae F, Ura C, Eda Hiro A, Motokawa K, Awata S.	4. 巻 18(11)
2. 論文標題 Is community social capital associated with subjective symptoms of dementia among older people? A cross-sectional study in Japan.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1537-1542
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13519	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Amemiya A, Fujiwara T, Murayama H, Tani Y, Kondo K.	4. 巻 73(2)
2. 論文標題 Adverse childhood experiences and higher-level functional limitations among older Japanese people: results from the JAGES study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Gerontology: Biological Sciences & Medical Sciences	6. 最初と最後の頁 261-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gerona/glx097	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nemoto Y, Nonaka K, Hasebe M, Koike T, Minami U, Murayama Y, Murayama H, Matsunaga H, Fukaya T, Kobayashi E, Maruo K, Fujiwara Y.	4. 巻 18(8)
2. 論文標題 Factors that promote new or continuous participation in social group activity among Japanese community-dwelling older adults: a 2-year longitudinal study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1259-1266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13457	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Itoh S, Hikichi H, Murayama H, Ishimaru M, Ogata Y, Yasunaga H.	4. 巻 1(2)
2. 論文標題 Association between advanced care management and progression of care need level in long-term care recipients: a retrospective cohort study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 JMIR Aging	6. 最初と最後の頁 e11117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/11117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamura T, Ura C, Miyamae F, Sugiyama M, Inagaki H, Edahiro A, Murayama H, Motokawa K, Awata S.	4. 巻 33(5)
2. 論文標題 To give or to receive: Relationship between social support giving/receiving and psychometrics in the large-scale survey.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Geriatric Psychiatry	6. 最初と最後の頁 798-799
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gps.4853	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamura T, Ura C, Miyamae F, Sugiyama M, Inagaki H, Edahiro A, Murayama H, Motokawa K, Awata S.	4. 巻 18(11)
2. 論文標題 Prevalence of depressed mood and loss of interest among community-dwelling older people: Large-scale questionnaire survey and visiting intervention.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 1567-1572
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13526	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林江里香, 野中久美子, 倉岡正高, 松永博子, 村山幸子, 田中元基, 根本裕太, 村山洋史, 渡辺修一郎, 稲葉陽二, 藤原佳典.	4. 巻 65(7)
2. 論文標題 「地域の子育て支援行動尺度」の多世代への適用可能性と支援行動の世代別特徴	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 321-333
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井手一茂, 鄭丞媛, 村山洋史, 宮國康弘, 中村恒穂, 尾島俊之, 近藤克則.	4. 巻 46(12)
2. 論文標題 介護予防のための地域診断指標: 文献レビューと6基準を用いた量的指標の評価	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 総合リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 1205-1216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 根本裕太, 倉岡正高, 野中久美子, 田中元基, 村山幸子, 松永博子, 安永正史, 小林江里香, 村山洋史, 渡辺修一郎, 稲葉陽二, 藤原佳典	4. 巻 65(12)
2. 論文標題 若年層と高年層における世代内 / 世代間交流と精神的健康状態との関連.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 719-729
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taniguchi Y, Kitamura A, Nofuji Y, Ishizaki T, Seino S, Yokoyama Y, Shinozaki T, Murayama H, Mitsutake S, Amano H, Nishi M, Matsuyama Y, Fujiwara Y, Shinkai S.	4. 巻 74(2)
2. 論文標題 Association of trajectories of higher-level functional capacity with mortality and medical and long-term care costs among community-dwelling older Japanese.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Gerontology: Biological Sciences & Medical Sciences	6. 最初と最後の頁 211-218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gerona/gly024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama H, Liang J, Shaw BA, Botosaneanu A, Kobayashi E, Fukaya T, Shinkai S.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Age and gender differences in the association between body mass index and all-cause mortality among older Japanese.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ethnicity & Health	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13557858.2018.1469737	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Murayama H, Sugiyama M, Inagaki H, Ura C, Miyamae F, Edahiro A, Motokawa K, Okamura T, Awata S.	4. 巻 in press
2. 論文標題 The differential effects of age on the association between childhood socioeconomic disadvantage and subjective symptoms of dementia among older Japanese people.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20180002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村山洋史, 小宮山恵美, 平原佐斗司, 野中久美子, 飯島勝矢, 藤原佳典.	4. 巻 in press
2. 論文標題 在宅医療推進のための多職種連携研修プログラム参加者におけるソーシャルキャピタル醸成効果: 都市部での検証	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamura T, Sugiyama M, Inagaki H, Murayama H, Ura C, Miyamae F, Edahiro A, Motokawa K, Awata S.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Anticipatory anxiety about future dementia-related care needs: Toward a dementia-friendly community.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murayama Y, Murayama H, Hasebe M, Yamaguchi J, Fujiwara Y.	4. 巻 19(1)
2. 論文標題 The impact of intergenerational programs on social capital in Japan: a randomized population-based cross-sectional study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-019-6480-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Carandang RZ, Shibamura A, Kiriya J, Asis EL, Chavez DC, Meana M, Murayama H, Jimba M.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Determinants of depressive symptoms in Filipino senior citizens of the community-based ENGAGE study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology & Geriatrics	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.02.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Morita A, O' Caoimh R, Murayama H, Molloy DW, Inoue S, Shobugawa Y, Fujiwara T.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Validity of the Japanese version of the Quick Mild Cognitive Impairment screen.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph16060917	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Taniguchi Y, Kitamura A, Kaito S, Yokoyama Y, Yokota I, Shinozaki T, Seino S, Murayama H, Matsuyama Y, Ikeuchi T, Fujiwara Y, Shinkai S.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Albumin and hemoglobin trajectories and incident disabling dementia in community-dwelling older Japanese.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dementia and Geriatric Cognitive Disorders	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野藤悠, 清野諭, 村山洋史, 吉田由佳, 谷垣知美, 横山友里, 成田美紀, 西真理子, 中村正和, 北村明彦, 新開省二	4. 巻 in press
2. 論文標題 兵庫県養父市におけるシルバー人材センターを機軸としたフレイル予防施策のプロセス評価およびアウトカム評価	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲葉葉二, 藤原佳典, 小林江里香, 野中久美子, 倉岡正高, 田中元基, 村山幸子, 松永博子, 安永正史, 村山洋史, 渡辺修一郎.	4. 巻 in press
2. 論文標題 世代間交流と社会関係資本の継承: 長野県須坂市と首都圏2自治体調査の比較からの知見	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 政経研究	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shobugawa Y, Murayama H, Fujiwara T, Inoue S.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Cohort profile of the NEIGE study in Tokamachi city, Japan.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計8件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 3件)

1. 発表者名 村山洋史
2. 発表標題 生活機能低下の軌跡パターンと社会経済状況
3. 学会等名 日本老年社会科学会第60回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村山洋史
2. 発表標題 ソーシャルキャピタルと認知症関連アウトカム
3. 学会等名 第8回日本認知症予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村山洋史
2. 発表標題 高齢期における健康の社会的決定要因にどう挑むか：社会疫学の立場から
3. 学会等名 第13回日本応用老年学会大会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Murayama H, Shobugawa Y, Fujiwara T, Inoue S.
2. 発表標題 Social appearance (sekentei) and cognitive decline among community-dwelling older adults in rural Japan.
3. 学会等名 The 20th Congress of the International Association of Rural Health and Medicine (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村山洋史, 福田吉治.
2. 発表標題 職場のソーシャルキャピタルとバーンアウト: 地域包括支援センター職員へのパネル調査
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Murayama H, Sugiyama M, Inagaki H, Ura C, Miyamae F, Edahiro A, Okamura T, Awata S.
2. 発表標題 Socioeconomic disadvantage in early life predicts poor physical performance in late life among older Japanese.
3. 学会等名 The 70th Annual Scientific Meeting of Gerontological Society of America (GSA) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Murayama H, Kobayashi E, Fukaya T, Ishizaki T, Liang J, Shinkai S.
2. 発表標題 National prevalence of frailty in older Japanese population: From a representative national longitudinal survey.
3. 学会等名 The 70th Annual Scientific Meeting of Gerontological Society of America (GSA) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村山洋史, 天笠志保, 井上茂, 藤原武男, 菫蒲川由郷
2. 発表標題 世間体意識と高齢期の身体活動量: NEIGE study
3. 学会等名 第29回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	菫蒲川 由郷 (Shobugawa Yugo)  (30621198)	新潟大学・医歯学総合研究科・特任教授  (13101)	
研究分担者	田口 敦子 (Taguchi Atsuko)  (70359636)	慶應義塾大学・看護医療学部(藤沢)・教授  (32612)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------